

# 事業概要図 スマートシューズを用いた地域健康増進システム

私たちは 地域の高齢化対応、医師の常駐のない環境など継続等健康管理に関する様々なコスト的課題のために、歩行に関わるセンサーとデータ通信が可能なシューズ（スマートシューズ）を提供します。スマートシューズを通じて、利用者が意識せず、健康作りや地域のヘルスケアサービスと連携する環境へと発展させて行きます。

## 【構想図】



- 能動的な健康管理の問題
    - ・ データ集約や解析のコストが大きい
    - ・ データから個別に改善提案ができない
- 管理コスト増大 = 不可逆的健康問題

スマートシューズ利用



- 健康管理問題の解決
    - ・ データ収集のコスト改善
    - ・ 健康問題への認知改善
- 管理コスト削減 = 継続的な運用管理



健康管理を向上させる  
具体的アクション

- スマートシューズデータの集約方法の効率化（スマホなしでも対応）
- スマートシューズ装着への動機付け（受診予約などと連携）
- スマートシューズデータと解析（AIと運動系知見の活用）

## プロジェクト進行の流れ



完了時 | スマートシューズにより運動系管理から生活を支援する自動健康管理を実現する

事業実施主体 （コンソーシアム構成員）	公益財団法人ハイパーネットワーク社会研究所, 株式会社ブレインネット, 西日本電信電話株式会社大分支店, セルソース株式会社, 株式会社アシックス, 株式会社no new folk studio, ステラプラス株式会社
------------------------	---